

二〇二二

電一〇五七七

共

符

航作
本概
〇

海上護衛總部隊各戸

軍令部第一部・聯合艦隊口・支那方面艦隊口

機密第二一一六四九番電

發 GEB 參謀長

日滿支海上交通保護強化ニ伴フ航空兵力ノ配備變更ニ關シテハ GEB 機
 密第一九二一一六番電ノ方針ニ從ヒ遂次發令セラレベキ豫定ナル處敵攻
 略部隊ノ進攻如何ニ依リテハ GEB 航空兵力モ所在基地航空部隊ト共ニ
 決戰參加ノ場合アルベキニ付現主任務タル海上交通保護ニ萬遺憾ナキヲ
 期シツツ右新事態ニ應ズル爲左ニ依リ決戰準備ヲ進メ概ネ二月未頃迄ニ
 一應ノ体制ヲ整ヘタル上爾後極力線度ノ向上ニ努メラレ度
 一方針

敵政略部隊來襲時一部兵力ヲ以テ左ノ作戰ニ從事ス

通二九五二・二九五三・二九五三

呂二日ケ四

福田

(一)

20. 2. 23

(イ) 搜索、偵察、觸接

(ロ) 局地特攻兵力ニ對スル協力

(ハ) 攻撃

但シE級以上搭乗員ノ大部ヲ以テ飛行機隊ヲ編成シ電探機ノ極度利用ヲ重視ス

三、作戰要領

(イ) 敵攻路部隊來攻時所在兵力ハ一應避退ヲ建前トスルモ爾後護衛作戰ヲ續行スルト共ニ前項作戰ヲ實施ス

(ロ) 最惡ノ事態ニ於テハ其ノ局地ニ於テ特別攻撃ヲ實施ス

三、配員ハ三月末豫想實動兵力ニ對シ一・五倍ヲ標準トスル搭乗員整備員ヲ以テ作戰シ余員ハ基地航空部隊ニ轉出セシメラルル豫定。

人

天

二二二
受信一九〇〇
譯始二〇二〇
譯了二〇五〇
電〇一五五
作繼〇



北東方面部隊戰鬪概報着信艦所

共符

機密第二一一六五一番電

北東航空隊第一占守基地戰鬪概報第四〇號 (二月二十一日)

艦攻一機ヲ以テ〇八〇〇一一二五迄對潛哨戒ヲ兼ネ「キ」八〇一
船團直衛實施異狀ナシ天候晴雲量三雲高八〇〇風速五視界五〇料。

通一一六一九 呂一^B ヶ四 (四〇七五 KC) 大湊 川崎 (岩崎)

20. 2. 22



二二三
受信 一七〇〇 譯了 一七五五 電一〇五五九
航作 概 本〇

緊急

ヤツブ 航空基地

第五基地航空部隊戦闘概報着信艦所



第三〇根

機密第二一七〇〇番電

20. 2. 23

二十一日戦闘概報

一〇〇〇 PBY 一機 グラマン TB 一機 六機 一三〇度

ヨリ來襲本島南部農耕場銃爆撃後九〇度ニ去ル其ノ他視界内飛翔
ナシ爆音聴取一回

三戰果 被害ナシ。

通一三一〇八 呂一B (一五七一〇KG) 三通 野木 (小野 田)

二
三
二

受信開始
〇二〇一〇七

了〇一二五

電

〇〇〇
三二一
符〇二八
二六〇

作
概

至
急



東京通信隊
海上護衛總各戸・聯合艦隊戸

機密第二一七二三番電 三分ノ二二三

發 高雄警備府參謀長

宛 大海參各部 海軍省各局 艦本 航本 施本 運本

最近ノ敵機來襲狀況

(付) 毎日夜半ヨリ黎明前迄偵察機二機程度台灣周邊時トシテ船舶ヲ

攻撃ス

(口) 毎日本一〇〇〇乃至一五三〇戰機聯合二〇〇乃至三〇〇機梯團ニ

分レ南方ヨリ侵入南部中部及東岸(北部ハ雨期ノ爲カ殆ド侵入

セメシキ銃爆撃後南方ニ脱去ス

通一一六六二九
一一六七五

通一一六八九

呂一五々四

(四七〇五)

高 通

(一)

野村 吉田 牛島(五島)

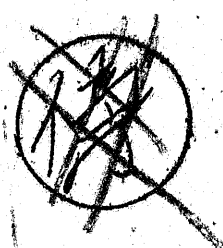
20. 2. 22

(ハ) 主目標ハ航空基地船舶倉庫工場等ニシテ近時驛列車及自動車並ニ市街ノ一部攻撃未ダ徹底的ナラザルモ累積被害ハ輕視シ得ザルモノアリ又海陸共輸送ヲ阻害サルルコト極メ重大ナリ我ガ艦艇管方面從來空襲下能率低下防止ニ努メ來レル處ナルモ時ニ各部隊各艦並ニ艦船部隊作業ヲ續行スル一方凡百ノ海陸輸送機關ヲ全幅活用輸送力ノ増進ヲ計リ發着(出入港)及航路ヲ規制スル等被害局限復舊シ得ル如クシアリ。

至 急

二 二一 受信二〇四九 譯了二三四〇 電一〇二五六

軍需・練概空〇



東京通信隊

鹿屋航空基地

國分第一空基地・博多空

機密第二一一七二五番電

發 五 A F 參謀長

宛 軍務局長 航本總務部長 艦本總務部長 大海參一部長 大海參二

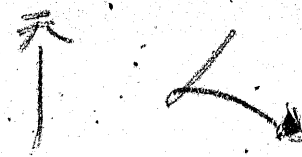
部長 軍需局長 練習聯合航空總隊 參謀長 第十二聯空司令官

國分航空隊ハ最近觀音寺基地ニ移轉スルコトナリ現ニ國分基地裝備ノ
各種兵器（通信關係飛行關係氣象關係）工作機械主計長主管需品等ノ物
件ヲ移動中ナルトコロ斯クテハ作戰基地トシテノ能力喪失スルコトナ

通一一六四九 呂一〇（三八〇二、五KC）鹿屋空基地 羽金（吉田）

20, 2.22

リ作戦遂行ニ支障ヲ來ヌコトナルニ付當部隊ニテ必要トスル物件ハ移
 動セザル如ク御手配ヲ得度
 詳細ハ現地打合せノ上ニテ決定ノコトニ遵ビ度。



作戰緊急

二、二一

受信一九〇三五
譯始一九〇五

譯了二〇〇五 電一〇一五三

航作
本概
〇

八丈航空基地

第三航空艦隊口・香取航空基地・硫黃島航空基地

大海參一部・聯合艦隊口

機密第二一一七三二番電

二十一日〇八四五ヨリ一二〇〇迄ノ間零戦九彗星十一機天山八着
昨日着ノモノヲ含ム攻撃隊全機着

天山(雷装)一機着陸時脚折損

三一二〇〇彗星十一機零戦十一機發進零戦三引返ス 第一次攻撃隊爆

四彗星四 第二次攻撃隊爆三戰三 第三次攻撃隊爆四戰二

四一三五五彗星一零戦四機發進彗星一機引返ス

通一一五九五

呂一Bラ十八(三九一五KC) 八丈空 山下(森田)

20. 2. 22

五一〇四五第四次攻撃隊爆装四第五次攻撃隊雷装三發進
六殘留搭乗員長先一等飛行兵曹及吉田上等飛行兵曹ノ組一組。

(二)



二二二
三三三
二二二
二二二
受信開始
〇三一〇〇
譯了
〇四四五
電一〇三一七
作
概

佐

鎮

作

九五
海設總口・青根
空

機密第二一一七三六番電

第九五一航空隊青島派遣隊ハ二月二十日敵P一五一 五機ノ襲撃ヲ
受ケタル際果敢ナル對空戰闘ニ依リ其ノ二機ヲ撃破スルト共ニ被害
機處置適切ニシテ何等ノ被害ナク之ヲ撃退防衛ヲ完セルハ可ナリ。

通一一六六三 出Bケ四(B) 佐通 石毛(杯部)

20. 2. 22

二二二二 受信一六四五 譯了二七二〇 電一〇五五二 作 概

緊 急

● パラオ第一航空基地（アイライ）

● 第五基地航空部隊機着信艦所

● 三十根

機密第二一一八一六番電



20. 2. 23

戦闘概報二月二十一日

一 F四U一 延二二機來襲海岸岩壁附近銃撃數回 P一三八 一機飛

行場上空

二 夜戰延一〇機終夜飛翔セリ

三 視界内飛翔 F四U一 延二三 T四 F一 延一三 C一 二四 一機夕

ダラス 送機四機

四 戦果被害ナシ

通一二〇七九 呂二〇 一五七一〇 KC 三 望月（雨 谷）

↑
人

作

二
二二二
受信開始 〇〇二五〇
譯了 〇一〇一〇 電一〇二六一
作 概

至 急 符

父根戦闘概報着信艦所

機密第二二二二〇一五番電

發 母島警備隊司令

戦闘概報 (二月二十六日)

一六五〇 三五〇度ヨリグラマン (四機) 一二機來襲沖村向島平

島ヲ銃撃一六五五西方海面ニ遁走

三 戦果撃墜二機

三 防材設置作業中ノ横田少尉重傷大澤一曹戦死

四 發射弾數 (一門平均殘弾數) 二五 耗機銃二〇二 (一七) 〇〇 (一)

三三五 (二八四〇八)

通 一六八一 呂一Bケ四 (五一〇〇KC) 父通

相澤 (上野)

20. 2. 22

1545

人 人

緊急

一 二二 受信二三五五
二 二二 譯始〇〇三〇〇
三 〇〇 譯了〇〇五八 電一〇二九九

作 練空 航本
施本 航本 概〇



東通 第三、五航空艦隊各戸・練空
第一〇一航空戰隊P・横 鎮
横須賀航空隊

機密第二一二一三二番電

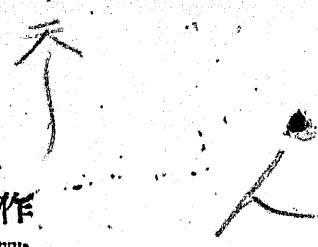
發 GF 參謀長

着信者 練習聯合航空總隊司令官 軍令部一部長 軍務局長 航本總務

部長 兵備局長 人事局長 施本總務部長

二月二十四日一三〇〇第一作戰司令所ニ於テ三AF五AF一〇AF一〇
一SFノ配備基地ノ打合ヲ行ニ付各隊主務參謀並ニ中央主務部局員ノ參
集ヲ取計ムレ度追テ當日〇八〇〇迄ノ情況ニ於テ敵機動部隊ノ來襲アリ
タル場合ハ中止。

通一一七五八 呂一B (B) GF 力トウ (吉田)

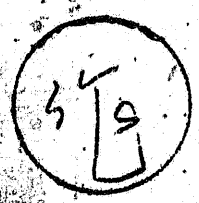


二二二 受信 〇〇一八 譯了 〇一二五 電一〇二六三

作戰特別緊急

横鎮防空指揮所

航作 概 本本〇



横鎮(特)見張所
大海參謀 東部軍司令部・吳鎮・阪警
聯合艦隊

機密第二一二一三五番電

發 横鎮

宛 横須賀鎮守府一般

機密横鎮信電各 防空作第二八五號

二〇一〇ヨリ二〇三〇迄頃ノ間 大王崎 八丈島連綴線上ニ測定セル
數目標ハ其ノ後行動不明ナルモ十六日敵機動部隊來襲
前夜ノ情況
ニ酷似ス

三月二十二日〇五三〇以後第二警戒配備甲トナシ 警戒ヲ嚴ニスベシ。

通一一七六二 天二Bケ六(一二〇KC) 横鎮防指 野木(小野田)

20. 2. 22

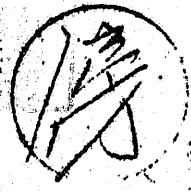
人 子

二二二 受信 〇〇一〇四五 譯了 〇一四〇 電一〇二八二 作機

急

木更津航空基地

父 高 根



機密 第二二二二三二四番電

2.22

戰國概報 二月二十一日綜合

一〇二〇六十二機一五五七 六十一機來襲各一時間餘二

頁リ飛行場航空隊及在泊中報國一三號艇機帆船ヲ銃爆

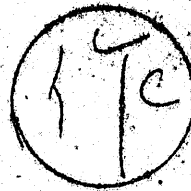
二戰果撃破二機

三被害ナシ

1547

通一一七七五 口一Bケ四一五一〇〇Kc)父通 備川(鈴三)

1548



作戰緊急

二二二

受信開始 〇〇三四五

譯了 〇五〇〇

電 一〇三二一五六

作概

父

根



香取航空基地、三航空艦隊

東通・横通・聯合艦隊口・鹿屋航空基地
硫黄島航空基地

機密第二二〇一四六番電 二分ノ二

通報横須賀鎮守府參謀長大本營海軍參謀部第一部長

二十一日自一〇一五 至一五三〇 第二御楯特別攻撃隊ノ父島ニテ判明

セル狀況左ノ通

一 攻撃後父島ニ歸還セルモノノ戰闘機四機一機着陸直前海中ニ突入
二 攻撃セズシテ父島ニ不時着セルモノ

(1) 戰闘機二機

(1)

通 一一八二九

呂 一Bケ四 (五一〇〇K) 父通

岩坂本 (塩田)

20. 2. 22

- (ロ) 雙屏二機 (内一機使用可能一機大破)
 (ハ) 天山一機ナルモ使用不能
 三八丈島ニ殘留ノモノ天山一機及戦闘機一機
 照戰果

- (イ) 第一攻撃隊ノ攻撃ニ於テ大型空母一隻大火災撃沈略確實 (岩下中尉確認) 六〇一機撃破
 (ロ) 父島附近ニテ田邊一飛曹機 六〇一機撃墜
 (ハ) 右ノ外不詳

五月二十二日可動機戦闘機二機黎明發進銃撃ヲ決行セシム。

傷

緊急

二二三 受信始 〇〇一三〇五 譯了 〇九四〇 電一 一〇二一 作概

新竹航空基地

九〇一航空隊

九三一空 (舟山島航空基地)・九五一空 (龍華航空基地)
九〇二戰隊 (馬公航空隊)・九〇一空 (廈門航空基地)
九三一航空隊 (佐伯航空基地)

機密第二二〇三四五番電 三分ノ一

第九三一航空隊新竹派遣隊作戰日報第一五號 (二月二十一日)

一、P 艦攻三機一〇五五發 豫定哨戒ヲ終ヘ一〇〇〇 二機舟山島着一機

一二二五新竹ヨリ三五八度九三溼ニ敵浮上潜水艦ヲ發見攻撃セルモ

效果不明 (二五番一發) 一四〇五新竹歸着同三機 (内未歸還機二

機) 一五四五新竹發攻撃ニ向フ一七五〇第一〇二號輸送艦搜索セルモ
ヲ發見セズ新竹竝ニ基地天候不良ノ爲夜間攻撃實施セズ

(電信課註 本電三分ノ二三未着)

通一二四二四 呂一Bケ四 (六七KG) 佐通放

東譽 (渡瀬)

20. 2. 24

人

二二三

受信〇九二一
開始〇九三〇

譯了二〇五〇

電一〇〇三八七
四一七・一〇〇四一六

航作
本概〇

緊急

無線艦所用共通符號



香取航空基地・木更津航空基地
● 大海參一部・聯合艦隊司令部・横濱
● 鹿屋

機密第二二〇五一五番電 四分ノ一、二、三、四

發 父特根參謀

宛 第三航艦 第三魚雷艇隊

父島基地狀況及敵機ノ行動ニ鑑ミ硫黃島攻撃ニ際シテハ豫メ左記留意
相成度

一、攻撃隊南下途上ニ於テハ小笠原列島線ニ近接セザルヲ可トス敵ハ終
日當方面ニ對シ十數機ノ群ヲ以テ銃爆撃ヲ實施スルト共ニ周邊哨戒
ニ任ジツツアリ空母ノ位置ハ敵機ノ飛來竝ニ歸投方向ヨリ判斷シ硫

通 一一八七三・一一八七六
一一八六一・一一八六〇
呂一五ヶ四(二〇二〇〇K)父通 菅原(福田)

(一)

1551

20. 2. 23

黄島近海及父島ノ西又ハ西南方七〇海里附近ニアルモノノ如シ
 ニ父島ヲ基地トシテ行フ中小型機ノ連續攻撃ハ困難ナリ敵ハ晝間艦上
 機夜間大型機ヲ以テスル艦隊ナキ哨戒攻撃ヲ實施中ニシテ我ガ航空
 機ノ使用ヲ封殺スルヲ以テ第一目的トシアルコト確實ナリ飛行場ニ
 對スル銃撃特ニ熾烈ニシテ補給ニ多大ノ困難ヲ感ジアルノミナラ
 ズ昨二十一日ノ如キ味方飛行機ノ着陸寸前爆撃ヲ被ル時ハ直ニ使用
 不可能トナル
 尙艦隊車敵陣中ニシテ例ヘ修理スルモノ着陸ニ完全ヲ期シ難ク
 攻撃後ハ不時着場トシテ考慮ノ價値アリ
 三敵機ノ晝間哨戒ハ〇四〇〇乃至〇八〇〇・一一三〇乃至一四〇〇及
 一六〇〇以後ハ概ネ閑散
 四夜間大型機ニ依ル哨戒ハ二三〇〇頃ヨリ〇二〇〇頃迄ハ比較的低調
 ナルモ右以外ハ概ネ單機又ニ機程度ニテ終夜行動飛行場地區ヲ主目
 標ニ攻撃實施中ナリ

五 行動豫定ハ特ニ早目ニ通知サレ度必要事項連絡ニ構ヲ失スルコトアリ
六 使用電波ノ外呼出符號知ラサレ度飛行場狀況遠報等緊急直接連絡ヲ必
要トスルコト多シ

七 味方識別特ニ上空侵入直前脚ヲ出コトヲ履行ノ要アリ彼我小型機錯綜
ノ狀況ニ於テハ顯著ナル識別ナクバ味方打ノ危険甚ダ大ナリ
八 滑走路長サ約八〇〇米幅三〇〇米場内ニ不時着破損機數機散在アリ

20. 2. 23

③



緊急

受信〇九四五
譯始一〇五八

一二二

譯了一一一六 電一〇四一三

航作
概
本〇

共

符

大島防備隊・鹿兒島在勤武官
指宿航空基地・四海上護衛隊・山川部隊

機密第二二二〇五三五番電

發 大安丸艇長

〇五三〇對潛掃蕩並大島防備隊機密第二二一八一九番電ニ依リ不
時着機ノ救援ニ向フ。

通一一八九九

於一四一九八三〇〇〇 佐二放

石渡（酒卷）

23

1555

二二二
受信始一一四〇七
譯了一二〇五
電一〇四五五
作磁〇・航本

至急

共符



父島根戰團概報着信處所

機密第二二〇六四六番電

發 母島警備隊司令

母警機密第二一二三五五番電關聯

本朝搜索セルモ手懸無シ。

通一一九二六

天二Bケ六(B)

横通

村尾(清塚)

20. 2. 23

作

二二二
急
受信一
始一二
四五二

了
一三一
一〇四
九
作
〇

二八根職輪船報着信處所

一八
管
備
隊

秘密第二二〇七〇八番電

20. 2. 23

マノタワリ 通過状況 二十一日

一、東(西)行 船機〇八二八一〇四一 双發機(七) 一四〇八一八

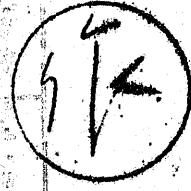
二〇双發機(一) 直發一(〇)

三一七一 九小艇 輸送船一隻 東行

通 一 一九六八 天 一 B ラ 十 一 八 三 六 七、 K C 一 廿 一 通

(村尾
河田)

二二二 受信一二二五五 譯了二三二五 電一〇四六四 作 概



千防部陸軍機報着信機所 千根

機密第二二〇八一四番電 二分ノ二

千防戰團機報第一〇六號 (二月二十一日)

20. 2. 23

○八三五八一三四 四機超低空 (五〇米) ニテ蔭ノ洞ニ來襲銃爆機後北東
 方向ニ避退セリ 電探捕捉セズ 戰果通信謀報ニ依レバ (平文 電話ヲ傍
 受) 一機 擊破不時着ノ算大 他三機ニ對シテモ相當ノ損害ヲ與ヘ被害兵
 一 負傷蔭ノ洞衛所磁氣探知器用電機全部 (四組) 切斷 (調査修理中) 貨
 物自動車一臺破壊電探兵舎彈痕ニ〇發漁場ノ建物一棟焼失其ノ他兵器補用
 品若干破壊發射彈數二五耗二發一三耗三〇發 天候曇 雲高六〇〇米北西
 ノ風一一米 最近敵機ハロケツト爆彈ヲ使用シツアリ 又屢電波探信儀
 ヲ攻撃ス

通 一一九五六 天 一ヨケ四 (B) 大湊
 一一九五九 山原 (川口)
 山崎

人

二二二 受信一二三〇 譯了一三三一 電一〇四六二 作 機

至 急



南東方面部隊戦闘概報着信處所

機密第二二〇七三五番電

20. 2. 23

RN方面部隊戦闘概報第一四三號 (二月二十一日)

B〇〇七三五一〇八〇〇B一三五 三八機〇七五四一〇八一五B一、二

五 一機〇八〇八一〇一三二七B一三型四U二機計六機B〇敵二「又サ口

七シ」島鏡爆撃〇七四二一〇八〇六〇八 機 一〇八五五各PBY一

機哨戒一二四四・一五三六各B一三四 四機北西進

戦果被害ナシ。

通一一九四〇 呂二Bヲ十一(一七六EC) 四通放 吉田(松山)

二二二二
 緊急
 受信一〇五九
 譯始一一〇六
 譯了一一一六
 電一〇四四一
 航作概本〇
 津航空基地



父島特根
 二七航戦

木更津航空基地

機密第二二〇九二五番電

20. 2. 23

發 第三航空艦隊參謀長

貴機密第二二〇一四六番電關聯

貴地着陸セル搭乗員ニ就テ各攻撃隊ノ行動攻撃目標位置時刻戰果等詳

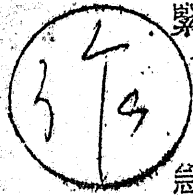
細速報アリ度尙貴地ニ殘留セル搭乗員氏名知ラサレ度

通一一九二一 於十四(七二六〇KG)木空基地

仙波(松山)

人

緊急



二 三二 受信 一一二〇六 譯始 一二四三

譯了一三二五

電一〇四七五 八

作 航本・練空

鹿屋空基地

一基地航空部隊作戰命令着信處所・宇佐空
樂城空基地。串本空基地

機密第二二二〇九二八番電二分ノ一、二

一 K F G B 信電令作第五六號

一、各隊基地配備ハ根據基地決定迄當分現狀ノ儘（一 K F G B 信電令作第三號
ノ通）トシ第三警戒配備中ノ訓練基地使用區分ヲ左ノ通定ム

(1) 鹿屋 K 七〇三可動兵力ノ約二分ノ一七 F 同約二分ノ一
七 F 同約二分ノ一兵力

二 S 三一二及 K 九九一配備基地ヲ夫々第一國分及串良ト定ム

三 S 三〇六 S 三〇七約二分ノ一兵力ハ通、且都城、嶺、基地ヲ使用シ訓練スベシ。

通一一九四八

呂一 B ケ四 (九八三〇 K) 佐二放

平島 (イホ原) 出原

20. 9. 23

1951

緊急

停

二二二二
受信一五三八〇
譯了二五五〇
電二〇五三三
作機〇

第一空襲部隊（七基地航空部隊）

密第二二〇九三五番電

E一A B電令作第六〇號

第三警戒配備トナセ明二十三日〇五三〇以後第二警戒配備トナセ。

種一三〇四六
呂一Bケ四（七二六〇）カニケ谷

平島（深見）

20. 2. 23

二二二二

受信一三一五
譯始一三二五

譯了一四五五

電一〇五三五

統作
本概

作戰緊急

● 鹿屋 航空基地



一機動基地航空部隊作戰命令着信概所

機密第二二〇九四七番電

KYOB 信電令作第五七號

八明二十三日以後特令アル迄の區畫間哨戒左ノ通定ム

(イ)哨戒範圍e一八e二三e二四ヨリe三二迄(計七機)

(ロ)進出距離e一八・e二二・e三〇〇哩・e二四・e二六・e五〇〇哩

(六五〇哩)

(ハ)發進時刻e一八e二三e三〇五三〇其ノ他〇七三〇

(ニ)擔任。e一八e二三第十一部隊其ノ他第九部隊

三。區夜間哨戒ニ關シテハ敵情ニ依リ其ノ部隊特令ス。

通一一九八一

呂一巴拉一八(七六〇五〇)

鹿屋航空基地

村尾(小幡)

20. 2. 23

人



緊急

二二三

受信始一四四二九

譯了一四四五 電一〇四九一

航作
本概〇

父島航空基地

香取航空基地

機密第二二〇九五八番電

20. 2. 23

宛 岩下中尉

發 六〇一空司令

父島ニアル陸攻部隊ニ關シ左記報告トシ

一、各隊(機)ノ戰鬪狀況

二、第一攻撃部隊ノ航空母艦撃沈位置時刻

三、攻撃續行可能 機種機數

通一二〇二五 於十四(一〇二〇〇K) 木空基地

清水(木下)